



京都環境賞（大賞）



株式会社 ヒューマンフォーラム



活動 テーマ

使用済み衣服の地域内循環

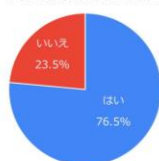
活動内容

不要衣服の回収BOXを、市内約100箇所に設置し、古着として販売又は無償提供する「リリースキャッチプロジェクト」を展開。また、「循環フェスプロジェクト」では、イベント形式での不用品の回収と無償提供のほか、様々な企画も実施。これらのプロジェクトにより、多くの若者、地域住民を巻き込み、地域事業者や行政と連携して、京都独自の地域内循環の仕組みを作ることを目指している。

市民の意識変化 | 洋服の手放し方に困っている人は多い

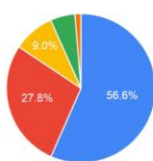
・「循環フェス@梅小路公園」参加者へのアンケート（2022年11月27日開催）
¥0 Marketで衣服を持ち帰った方を対象に実施：回答数969件

Q) 洋服の手放し方に困った経験はありますか？



76.5%が洋服の手放し方に困った経験があると回答

Q) 「はい」と答えた人の理由は？（回答数：767）



・まだ着られるのにもったいない
・可燃ごみで捨てる罪悪感がある
が合わせて84.4%

回収BOXの設置場所を
マンションロビーや銀行など、
生活導線の中に置くことで
利用しやすくなりました。



学生マンション内に
設置された回収BOX

循環フェスでの¥0マーケット

古着を無料で持ち帰ることで、古着に触れ、利用する体験を通して、循環の輪に自然に参加することができます。



¥0マーケットの様子

循環フェスのイベントチラシ

市民の意識変化 | 捨てる、から、回収・循環へとシフト

【イベント参加前後での意識の変化】

Q) 着なくなった服はどうしたいと思いますか？（現在と今後を質問。複数選択可）



【減少】

・燃えるごみとして捨てる
(▲約20%)
・とっておく(▲約13%)
など

【増加】

・店舗等の衣服回収BOXに入れる
(+約16%)
・古着屋等へ店頭持ち込み
(+約14%)
など